

パスパ文字の字母表

吉池孝一

このローマ字翻字は「言語文化接触に関する研究」(2000年3月24日。アジア・アフリカ言語文化研究所)という研究会において公表した案に修正を加えたものである。2000年より2005年までの間、若干の点において表記に揺れがあったけれども、今後は特段の問題が生じない限り以下のようにする。

子音

1 𑄀 g	2 𑄁 k'	3 𑄂 k	4 𑄃 ŋ		
5 𑄄 d	6 𑄅 t'	7 𑄆 t	8 𑄇 n	9 𑄈 l	
10 𑄉 b	11 𑄊 p'	12 𑄋 p	13 𑄌 m	14 𑄍 f (𑄍 f1奉, 15 𑄎 f2非敷)	16 𑄏 v
17 𑄐 j	18 𑄑 č'	19 𑄒 č	20 𑄓 ñ	21 𑄔 ś (𑄔 ś1禪, 22 𑄕 ś2審)	23 𑄖 ž
24 𑄗 j	25 𑄘 c'	26 𑄙 c	27 𑄚 s	28 𑄛 z	
29 𑄜 ·	30 𑄝 h (31 𑄞 h1匣, 𑄟 h2曉)	32 𑄠 γ	33 𑄡 y (𑄡 y1喻, 34 𑄢 y2幺)		
35 𑄣 'r	36 𑄤 r	37 𑄥 q			

半母音

38 𑄦 ü	39 𑄧 ĩ
--------	--------

母音

40 𑄨/𑄩 u	41 𑄪 or 𑄫/𑄬 or 𑄭 o	42 𑄮/𑄯 i	43 𑄰 or 𑄱/𑄲 or 𑄳 e	44 𑄴 e
----------	--------------------	----------	--------------------	--------

- 凡例：1. 本表は『法書考』『書史会要』の44字母を整理したものである。サンスクリット語・チベット語の専用字母は未収。
2. () で括ったものは四組ある。14 𑄍 f (𑄍 f1奉, 15 𑄎 f2非敷)、21 𑄔 ś (𑄔 ś1禪, 22 𑄕 ś2審)、30 𑄝 h (31 𑄞 h1匣, 𑄟 h2曉)、33 𑄡 y (𑄡 y1喻, 34 𑄢 y2幺)。括弧の中の15 𑄎 f2、22 𑄕 ś2、31 𑄞 h1、34 𑄢 y2は中国語専用の字母であり、14 𑄍 f、21 𑄔 ś、30 𑄝 h、33 𑄡 yに変形を加えたもの。中国語でも、この両者を区別する資料と区別しない資料がある。区別する場合は、𑄍 f1と𑄍 f2、𑄔 ś1と𑄔 ś2、𑄝 h1と𑄝 h2、𑄡 y1と𑄡 y2のように、数字の1と2を付して区別する。区別しない場合は、𑄍 f、𑄔 ś、𑄝 h、𑄡 yのように数字を付さない。なお、数字の1とある方が濁音の系統で、2とある方が清音の系統。
3. 表中のローマ字が表わす子音は次のようになっている。1 𑄀 gや5 𑄄 dなどの系統は「濁音(有声音)」、2 𑄁 k'や6 𑄅 t'などの系統は「息の出方の強い清

音（無声帯気音）」、3ᠮᠠkや7ᠪᠲtなどの系統は「息の出方の弱い清音（無声無気音）」である。パスパ文字は主にチベット文字に拠って作られたものであり、このローマ字の示す音もまたチベット文字の音を想定している。これをモンゴル語や中国語の表記に用いる場合、次のような対応となる。

モンゴル語には、有声（軟音）と無声（硬音）の二種の子音があり、パスパ文字は次のように対応する。

モンゴル語音→	有声音	無声音	(借用語)
	1ᠭᠢ g	2ᠬᠢ k'	3ᠮᠠ k
	5ᠰᠢ d	6ᠲᠢ t'	7ᠪᠲ t
	10ᠪᠢ b	11ᠫᠢ p'	12ᠫᠤ p
	17ᠡᠵᠢ ṣ	18ᠬᠢ ṣ'	19ᠬᠢ ṣ
	24ᠵᠢ j	25ᠵᠢ c'	26ᠵᠢ c

モンゴル語の有声音を「チベット文字の有声音に由来する」パスパ文字で表記し、モンゴル語の無声音を「チベット文字の無声帯気音に由来する」パスパ文字で表記する。右端の「チベット文字の無声無気音に由来する」パスパ文字は、主に中国語などの外国からの借用語の表記に使用する。

中国語には、濁音（有声音）と息の出方の強い清音（無声帯気音）と息の出方の弱い清音（無声無気音）を想定し得る三種の子音の枠組みがあり、パスパ文字は次のように対応する。

中国語音→	無声無気音	無声帯気音	有声音
	1ᠭᠢ g	2ᠬᠢ k'	3ᠮᠠ k
	5ᠰᠢ d	6ᠲᠢ t'	7ᠪᠲ t
	10ᠪᠢ b	11ᠫᠢ p'	12ᠫᠤ p
	17ᠡᠵᠢ ṣ	18ᠬᠢ ṣ'	19ᠬᠢ ṣ
	24ᠵᠢ j	25ᠵᠢ c'	26ᠵᠢ c

無声無気音と有声音において、中国語と「チベット文字の無声無気音と有声音に由来する」パスパ文字との対応は逆になる。

4. 母音の40ᠸᠤ/ᠸᠤ u、41ᠰᠤ or ᠰᠤ/ᠰᠤ or ᠰᠤ o、42ᠨᠢ/ᠨᠢ i、43ᠨᠤ or ᠨᠤ/ᠨᠤ or ᠨᠤ eについて。スラッシュ (/) の左側の字形は、前に他の子音が付かない場合の字形である。スラッシュの右側の字形は、前に子音が付く場合の字形である。
5. 母音 a を表わす専用の文字はない。各種子音の後および半母音 (ü と i) の後に、他の母音が無い場合は、母音 a を補う。したがって、子音だけの g や、子音に半母音が後置した gū や gī などが書かれている場合、それぞれ母音 a を補い、ga, gūa, gīa などのようにする。